

～患者さんのありのままの声の医薬品研究開発への活かし方～

1名分料金で
2人目無料

ソーシャルリスニングからの患者さんの声の事例紹介と活用のためのワークショップ体験

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/241245>

- ◆日時: 2024年12月20日(金)13:00～16:00
- ◆会場: 江東区産業会館 第2会議室
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: トランサージュ(株) 代表取締役 瀧口 慎太郎 氏【元外資系製薬企業】

Patient Centricityが謳われるなか、欧米では開発検討の段階から患者さんを助言者に含める事が監督官庁より求められるなど、患者さんの声の反映をルール化する動きや患者さんとのクソリの共創の動きが今世紀になって活発化しています。

わが国でも患者さんの声に対する関心は高まりを見せている一方で、創薬ターゲットのスペシャリティ領域や希少疾患領域へのシフトも重なって、従来の患者さんの声の収取方法の限界も見え隠れします。

今回は、患者さんの声の収集の決定打として着目される新時代のリサーチ、ソーシャルリスニングについて事例のご紹介に加え、患者さんのありのままの声を活用するためのワークショップを開催し、参加者の皆様によって実際に開発ニーズの考察を体験いただこうと思います。

【パート1】: 講義

タイトル: 隠れていた『患者さんのありのままの声』を
聴くためのソーシャルリスニング

- 1) 患者中心の医療とこれからの医薬品産業のあり方
- 2) スペシャリティや希少疾患領域における患者さんの声の収集の難しさ
- 3) 新時代のリサーチ、ソーシャルリスニング
- 4) ありのままの患者さんの声
(Real World Voice) から見えてくる真の診療課題
- 5) 患者ニーズを満たしアウトカムを上げるための、
これからの製薬会社の役割

【パート2】: ワークショップ

『患者さんのありのままの声
(Real World Voice)から開発ニーズを考えてみる』

パート① A : 個人別ワーク

- 1) 患者さんの声を聴く(投稿閱讀)

パート② B : グループ別討議

- 2) 患者さんの声に対する共感点の共有
- 3) 医薬品課題の考察
- 4) 優先解決課題の抽出
- 5) 打ち手の考察
- 6) 討議結果の共有と感想

『ソーシャルリスニング』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>